

【ご参考】2024年助成対象 一覧
(助成期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
チャレンジコース助成 (20件 助成金額：992万円)



一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		陸前高田版タオル体操とモルックを広め集うコミュニティを育てる	特定非営利活動法人 りくカフェ	岩手県陸前高田市
○		多世代交流・健康グリーンツーリズムによるスポーツ応援コミュニティ復帰事業	鶴が丘一丁目町内会	宮城県仙台市
○		日本一の水路のまちを目指すため「潮来の水辺に日常を」地域住民で楽しむ水上散歩SUPクルージング	一般社団法人 いたこミズデザイン	茨城県潮来市
○		子供の運動習慣の基盤づくりとパラスポーツを通じた障害者の地域参加のための支援事業	NPO法人 成田スポーツアカデミー	千葉県成田市
	○	ユニファイドスポーツ「誰でもチアダンス！」	認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・東京	東京都新宿区
○		バイシクルタウンTokyo散走めぐり	一般社団法人 散走ネットワーク	東京都大田区
○		運動が苦手な子どもがタグラグビーをきっかけにスポーツが好きになる取組み	小松市ラグビーフットボール協会	石川県小松市
○		ディスクゴルフで多文化共生	坂井市国際交流協会	福井県坂井市
○		チャレンジ！ シニアバドミントン	チャレバド	長野県北佐久郡
○		シニア世代向けの体幹トレーニングメニューの開発	特定非営利活動法人 チャレンジゆうAchi	長野県下伊那郡
	○	「市民交流ポッチャ大会」	NPO法人 掛川市民交流研究会	静岡県掛川市
○		部活動地域移行が進む中で、居場所と活動場所を無くした中学生を中心にしたスポーツコミュニティづくり	NPO法人 プライズアウト	愛知県春日井市
	○	みんなでびわ湖を遊びつくす！～誰もが楽しめる拠点をめざして～	特定非営利活動法人 琵琶湖ローイングCLUB	滋賀県大津市
○		ベタンクがつなぐ多世代交流・異文化交流による健康的なまちづくり	特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台	兵庫県神戸市
○		ほらっできるやん！みんなでパラスポーツを楽しもうプロジェクト	あかしパラスポネット	兵庫県明石市
○		親子の絆を深めるイベント「親子スポーツフェスタ」「親子大運動会」	一般社団法人 Future for Kids	兵庫県明石市
○		コミュニティスポーツを通じて地域の住まう人々の健康と生きがいを育む	社会福祉法人 来島会	愛媛県今治市
	○	特別支援学校等を活用した障害者スポーツの拠点づくり事業	NPO法人 しいだコミュニティ倶楽部	福岡県築上郡
○		超越スポーツ・モルックは離島の新しい未来を創る！	壱岐市総合型地域スポーツクラブ Kamelia SC	長崎県壱岐市
○		菊池川を活用したオープンウォータースイミング（OWS）の普及と地域振興	玉名郡水泳協会	熊本県玉名郡

チャレンジコース連続助成 (3件 助成金額：150万円)

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
○		すべての子どもが“参加しやすい社会”をめざして～コミュニティスポーツがつなぐユニバーサルな場づくり	MLA実践交流・勉強会	北海道札幌市
○		ココロとカラダの「健幸」 豊かなスポーツライフをめざしてみんなが「健幸」に暮らせる町～人と人がつながり 笑顔がひろがる町づくり～	特定非営利活動法人 まち・ひと・みらい	福島県東白川郡
○		ご近所アドベンチャー&リゾートプロジェクト	森遊び工房 notameni	佐賀県鳥栖市

アドバンスコース助成 1年目 (4件 助成金額：1,094万円 (2年間合計))

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	地域一体で取り組む「誰もが一緒に座って楽しむスポーツ」の輪づくり	旭川パラスポーツ協議会	北海道旭川市
○		ノルディック・ウォークで盛り上げる、「ウォーカブル推進都市」の実現	特定非営利活動法人 NORDICあさか	埼玉県朝霞市
	○	みんながつながる・かがやく！『インクルーシブ ダンス	ままりズムぱぱリズム	神奈川県横浜
	○	「ダイバーシティ&インクルージョン」(D&I)「運動療育」と「国際交流」を融合させた発達障	特定非営利活動法人 ワン・フォー・オール	山口県宇部市

アドバンスコース助成 2年目 (4件 助成金額：1,200万円 (2年間合計))

一般	特定	プロジェクト名	団体名	所在地
	○	Chain of Smiles Project ～ボーダーレスで誰もが安心して参加できるスポーツイベントの実践～	Sporable	秋田県 秋田市
○		テラコヤのブカツドウ～不勝道～	NPO法人 テラコヤ	東京都 豊島区
○		「Head Of The SETA」を市民参加型の国際ロングレースへ	特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部	滋賀県 大津市
	○	沖縄の離島・へき地における障がい当事者を中心とした地域スポーツクラブの創設	一般社団法人 琉球スポーツサポート	沖縄県 浦添市

*アドバンスコース助成2年目の団体は、2023年に助成決定しており、引き続きアドバンスコース2年目として助成を行う。

2025 年 スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム

応募要項

～コミュニティスポーツによる
健やかな暮らしと文化の醸成～

チャレンジコース：50万円以下
アドバンスコース：200万円～300万円以下
(助成期間2年間合計)



住友生命健康財団では、2010 年に財団設立 25 周年を記念し、「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」を開始しました。私たちは、コミュニティスポーツを「地域において様々な人々が、楽しみながら参加・交流し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉えています。本プログラムでは、コミュニティスポーツが、あらゆる地域に根づき、社会の新しい価値を創り出すような取り組みを応援します。全国の皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募受付期間 2025年7月1日(火)～8月24日(日) 必着

公益財団法人 住友生命健康財団

住友生命健康財団 検索 <https://skzaidan.or.jp/>

イラスト：阿部伸二

2025 年 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

応募要項

～コミュニティスポーツによる健やかな暮らしと文化の醸成～

応募受付期間 2025 年 7 月 1 日 (火) ～ 8 月 24 日 (日) 必着

助成対象プロジェクト

さまざまな人が参加し、地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながる、以下のようなコミュニティスポーツの取り組みとします。

<助成対象プロジェクトの例>

- ・地域の資源（人材、自然、施設など）を活かした取り組み
- ・地域のなかであらゆる世代がともに楽しめる取り組み
- ・心身の障がい、長期療養、社会的マイノリティなど、困難な状況にある人びととともに楽しめる取り組み
- ・新たな視点や工夫を取り入れるなど、独自性のある取り組みなど

- * 助成対象プロジェクトには、実践に必要な調査・研究、およびプロジェクトの評価やその普及・発展のための「実践研究」も含まれます。但し、実践を伴わない研究は含みません。
- * 住友生命健康財団のホームページ内、助成先取組状況<コミュニティスポーツの現場から>を是非ご覧ください。
- * 応募は、1 団体につき 1 プロジェクトとします。1 団体で 2 プロジェクト以上応募された場合は、いずれも受付いたしません。

助成の対象となる団体

以下の要件を満たすものとします。

日本国内に活動拠点のある民間の非営利団体（法人格の種類や有無を問わない）で、団体としての活動実績があること。

- * 団体のホームページ、SNS 等で活動の様子が公開されていること。
- * 団体名義の銀行口座を有していること。
- * アドバンスコースでは原則として応募時点で 2 年以上の活動実績があること。

団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず、反社会的勢力とは一切関わっていないこと。

* 助成対象となる団体は、スポーツ分野を専門とする団体に限りません。なお、個人は対象になりません。

助成種別

助成対象プロジェクトは、取り組みの視点によって、次の 2 種類に分けられます。

【チャレンジコース】

地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざすもの

- ・助成期間 2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 (1 年間)
- ・助成金額 50 万円以下 (1 年間分) 16 件程度

* コミュニティスポーツのチャレンジとその自立・発展に必要な場合には連続して応募することも可能です。
(2 年間で上限とします)

【アドバンスコース】

地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざすもの

- ・助成期間 2026 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日 (2 年間)
- ・助成金額 200 ～ 300 万円以下 (2 年間合計) 4 件程度

* 2 年目の助成については、初年度の活動の進捗に問題がないこと、および該年度の当財団における予算承認が完了することが条件となります。

助成金の使途

プロジェクトに関わる費用であって、下記を想定していますが、必要なものはこれ以外も可とします。

旅費交通費	：交通費、宿泊費など
謝金	：コーチ謝金、講師料など
会議費	：会場代、会議配布資料のコピー代など
賃借料	：体育施設賃借料、コート賃借料など
機材・備品費	：スポーツ用具代 (1 点 30 万円以内)
広報・通信費	：広報・情報発信のための通信費、送料など
印刷費	：チラシなどのデザイン料、印刷代など
消耗品費	：文具等の購入費など
事務局人件費	：プロジェクトに関わる事務局スタッフの人件費、アルバイト代など
事務局諸経費	：事務所の光熱水費、家賃などでプロジェクトに関わる部分としての按分額

応募方法

①必要事項を記入した「応募用紙」と「定款または規約（会則）」をご準備ください。

<応募用紙の入手方法>

【チャレンジコース】と【アドバンスコース】では応募用紙が異なります。各応募用紙は住友生命健康財団のホームページよりダウンロードしてください。

②住友生命健康財団ホームページの「応募受付」ボタンから「応募受付ページ」にアクセスし、応募するコースの「受付フォーム」にお入りください。

③「受付フォーム」にて、応募にあたっての基本情報を入力いただき、①の「応募用紙」と「定款または規約（会則）」をアップロードして、内容を確認の上、送信ください。

* 8 月 24 日 (日) 必着です。

* 受付フォーム以外による「メール・郵送・持参・FAX」での応募は受け付けません。

* 「受付フォーム」送信後、自動返信で受付メールが届きます。受付メールが届かない場合は、事務局までお問合せ下さい。

* 応募内容に記入いただいた個人情報は、「公益財団法人住友生命健康財団の個人情報保護に関する基本方針」を遵守し、適切に管理します。

選考方法

財団が委嘱する学識経験者・実践者・財団関係者で構成する選考委員会において、選考の視点に基づき選考します。アドバンスコースについては、提出された応募企画書による選考の他、ヒアリングを行う場合があります。

<選考の視点>

- ① さまざまな人たちが参加し、地域に根ざした活動であること
- ② 民間が助成するにふさわしい活動であること
- ③ 意欲的で新たな取り組みであり、持続可能性があること
- ④ 目的に照らして企画内容（方法、体制、予算等）が十分に検討されていること

(以下はアドバンスコースのみの選考の視点)

- ⑤ 多様な関係者との協力・連携がはかれ、実施可能なマネジメント体制が整っていること
- ⑥ 他の地域への波及効果やコミュニティスポーツの深まりが期待できること

『コミュニティスポーツの現場から』

住友生命健康財団ホームページでは、過去の助成対象や、取り組みの成果をご覧ください。

応募前に是非ご参考ください。



選考結果

選考結果は 2026 年 2 月末までに全応募者宛に郵送または電子メールにて通知します。なお、選後総評、助成対象一覧（プロジェクト名、団体名、代表者名、助成金額を記載）、推薦理由などの選考内容は、2026 年 3 月末までに住友生命健康財団のホームページ、メディア等へのリリースにて公表します。

助成決定後の手続きなど

①助成手続き

助成に関する覚書を締結し、助成を開始します。

②助成金の支払い

2026 年 3 月末日までに助成金（全額）を団体名義の銀行口座に振り込みます。

アドバンスコースは、1 年目の助成金を 2026 年 3 月末日までに、2 年目の助成金を 2027 年 3 月末日までに振り込みます。

③報告書の提出

半年毎に中間報告書を、助成期間終了後 1 カ月以内に完了報告書を提出いただきます。

④オンラインによるスタートアップ交流会への参加

オンラインによるスタートアップ交流会を開催する場合は、ご参加いただきます。



<お問い合わせ先>

公益財団法人住友生命健康財団 事務局

(担当：船津・福田)

TEL：03-5925-8660 FAX：03-3352-2021

E-mail：sports@am.sumitomolife.co.jp

住友生命健康財団 検索

<https://skzaidan.or.jp/>



なお、このプログラムは、特定非営利活動法人 市民社会創造ファンドの企画・運営協力の元を実施します。<https://www.civilfund.org/>